

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

みんなのひろば

小学校陸上競技大会

6/8

村内小学校陸上競技大会は、「スポーツ公園総合グラウンド」にて、村内3小学校の6年生（一部5年生も含む）80人が出場して行われました。好天に恵まれたこの日、児童らは100メートル走や走り高跳びなど7種目で記録を競いました。大会成績は下記のとおりです。（各種目1位のみ）



▲女子80メートルハードル走

男子

100メートル走 大谷史樹（飯樋）14秒6 1000メートル走 佐藤和史（草野）3分41秒0 80メートルハードル走 須藤拓真（飯樋）14秒6 走り高跳び 小林悠（白石）3メートル50 走り高跳び 伏見将（草野）1メートル29 ソフトボール投げ 北山慎（草野）45メートル75 400メートルリレー 飯樋（大谷史樹・佐藤駿・江藤雄太・須藤拓真）1分00秒9

女子

100メートル走 菅野まど香（草野）15秒2 800メートル走 巻野美穂（草野）3分00秒0 80メートルハードル走 佐藤蘭（飯樋）14秒7 走り高跳び 菅野まど香（草野）3メートル58 走り高跳び 佐藤愛理（白石）1メートル11 ソフトボール投げ 浦住実里（白石）25メートル45 400メートルリレー 飯樋（佐藤舞・佐藤蘭・廣野なつみ・小林加奈恵）1分02秒7

今年も花いっぱいのに

6月

中学生・高校生による花植え

今年も中学生と相農飯館分校生らによって、深谷の県道沿いにサルビアの苗が植えられました。この花植えは、村の「美しい村づくり事業（花いっぱい運動）」の一環として、学校が総合的学習の時間を利用して取り組んだものです。昨年と同じ1・7kmの花壇に、赤や青色のサルビア合わせ



▲中学生による花植え

て約1万1,000本が植え付けられました。今後は、深谷行政区の方々や中学生らによって管理され、花が咲く夏から秋頃にかけて、道行く人の目を楽しませてくれるそうです。なお、この取り組みは原子力等立地地域支援事業の補助金を活用しています。



▲高校生による花植え

6/21

故 齋藤家隆さんに叙位

自宅で伝達式

村議会議員等を長年にわたって務め、村勢進展に功績があったとして、故齋藤家隆さん（大久保・外内）に、叙位が贈られました。叙位の伝達は齋藤さんの自宅で行われ、鈴木和夫相双地方振興局長から、妻の節子さんに位記が手渡されました。



▲鈴木局長から位記を受け取る節子さん

いいたてJFCが相双地区No.1

6/25



▲相双大会で優勝した「いいたてJFC」の選手たち

県大会へ

草野小サッカーチーム「いいたてJFC」が、原町市にて行われた「第58回福島県総合体育大会相双地区予選」のサッカー小学生の部で見事に優勝を果たしました。県大会は、7月28日・29日に会津若松市で行われます。

6/10

商工会青年部が奉仕活動

「商工会の日」に

商工会青年部の部員らが、村内の小学校と幼稚園で奉仕活動を行いました。この活動は、同青年部が毎年6月10日の「商工会の日」にちなんで行ったものです。昨年までは空き缶拾いなどを行ってきたおり、学校での奉仕作業は今回が初めて。この日、部員らは各小学校と幼稚園に出向き、学校側から要望のあった



▲校舎裏の草刈りをする部員ら

床や水道の修繕、校舎周辺の草刈り作業などを行いました。

6/16

新田川にヤマメを放流 草野小の児童



▲ヤマメの稚魚を放流する児童たち

草野小4年生の児童たちが、公民館南側を流れる新田川に約800匹のヤマメを放流しました。これは、原町市の新田川・太田川漁業協同組合（湊清一代表理事組合長）が、生態系の維持や環境保全などを目的に毎年行っているものです。この日、児童たちは稚魚が入ったバケツを静かに川面に近づけ、ゆっくりと放流していました。

緑の募金

ご協力ありがとうございました

今年4月1日から5月31日までの期間で行われた「緑の募金」は、村内の各家庭、事業所、学校などからご協力をいただき、村全体の募金総額は38万3222円で、昨年度を約4万円上回る金額となりました。

6月6日には、村内の小・中学校、飯館分校の生徒たちが役場を訪れ、みんなの気持ちがたくさんこもった募金を菅野教育長へ手渡ししました。



▲菅野教育長に募金箱を渡す草野小の児童

このほか、村内の事業所からも多くの募金が寄せられました。

寄せられた募金は、県の緑化推進委員会に集められた後、森林ボランティア活動の支援や植樹祭等の緑化活動に使われます。

また、緑の募金交付金として各学校に交付され、様々な緑化運動に使われます。みなさんのご協力ありがとうございました。

ご協力いただいた事業所

(五十音順)

- (有)荒木屋
- いいたて福祉会
- 飯館村森林組合
- カクダイ建設(株)
- 神尾建設(株)飯館支店
- (有)北原商店
- J A そうま飯館総合支店
- 庄司建設工業(株)
- (有)信和建設
- (有)長谷川電気工事
- (株)英工務店
- 濱田建設工業(株)
- (有)渡建工業



までい子育てよう!!

私たちの飯館村に大変なことが起きてしまいました。起きてしまったことは元には戻りません。したがって、今後このようなことが二度と起きないように、村あげて取り組んでいくことが大切です。

つまり、「相手の立場に立つて考える」、「人の痛みを知る」、「命の大切さ」、「もの良し悪しの判断を」、「あるいは「教育の重要性」といっしょに村あげて取り組んでいかなければならないのだ。この機会に全村民が心に誓ったとするならば、今回のことが生きてくるのではとも考えられます。

早速、飯館中学校では、校長先生が全校生に「命の大切さ」と、「罪の大きさ」を、「まてい」動揺しないで、目標をもってしっかりとのお話をさせていただきました。おそろく、全校生がその言

葉の重みをズッシリと心に刻んだものと思われます。

さらに、「青少年健全育成緊急村民大会」も間髪を入れず開きました。忙しい中、300人近くの方に集まっていたとき、青少年健全育成の大事さと村民あげての運動にしていこうというとてもありがたい提言や決議をもらいました。この大会決議の中には今後の行動計画が盛り込まれ、家庭・学校・地域・村が、出来ることから実行していくことが決まりました。後ほど、全家庭に配布いたしますので、是非それぞれの立場で運動推進に努めて下さい。

飯館村では今年から「までいライフプラン」がスタートです。「までい」に子供を育てないと、後で苦労すると「プラン」の内容を知っていただく一つの言葉でもありました。

「までい」は、「心をこめて」、「手間ひまおします」であって、決して「甘やかしたり、言いなりになったり」することが、「までい」ではないはずで

今こそ、これからの飯館村を背負うであろう青少年を「までい」に育てようではありませんか。

平成17年6月29日

飯館村長 菅野 典雄

小学生が森の大切さ理解

6/13

相双農林事務所の出前講座

草野小学校にて、6年生を対象に「森林教室」が行われ、児童たちが森林の役割などについて理解を深めました。

この教室は、相双農林事務所の出前講座で、この日は村森林組合も協力して行われました。

教室では、はじめに県職員から森林の役割や木

材の利点などについて、紙芝居とスクリーンを使って説明された後、木工工作が行われ、児童たちは職員らの手ほどきを受けながら折りたたみ式いすを作りました。

この教室は、飯桶小で6月28日に、白石小で7月8日に、それぞれ6年生を対象に行われます。



▲森の働きなどを分かりやすく説明した紙芝居

き取り組んだものです。

活動は、学年ごとに、学校から白石、白石から飯桶、飯桶から学校の3ルートに分かれ、それぞれ道路沿いのゴミを拾い歩きました。

この日、生徒らが拾い集めたゴミの量は、家庭用ゴミ袋で約50袋。生徒らは、捨てられたゴミの多さに驚きながらも、熱心に取り組んでいました。

トライアングルクリーン作戦 高校生のゴミ拾い活動

6/22



▲ゴミを拾い歩く高校生ら

相農飯館分校(飯野信也分校長)の全校生徒90人が、村内のゴミ拾い活動を行いました。

この活動は、身近な環境を美しく保ち、社会に対する奉仕の心を身につけようと、同校の生徒会が昨年に続

交通事故抑止緊急対策会議

6/14

今後の抑止対策を確認

6月9日に、村内で交通事故死亡事故が起きたことを受け、村公民館で「交通事故抑止緊急対策会議」が開かれました。

交通安全推進団体の関係者ら22人が出席した会議では、今後の事故抑止対策として、事故現場への看板設置やチラシの配布、広報活動などについて確認がされました。

また、会議に先立ち、出席者らが事故現場を訪れ、事故の状況等について、原町警察署の黒田典男交通課長から説明を受けました。

村内では、平成11年から毎年交通事故死亡事故が発生しており、昨年も2件起きています。ドライバーも歩行者の方も交通ルールを良く守り、事故防止に努めましょ。



▲会議の様子



▲事故現場で説明を受ける関係者ら